



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 28 年 4 月 30 日(土)

秋田道・太平山パーキングエリアでイベント開催 編

連休中に北東北や能代山本地域を訪れる方々に、木製機材の良さを感じながら地域の美味しいものや見どころを知っていただこうと、昨年 5 月に秋田自動車道・下り線の八郎湖サービスエリアでイベントを開催しました(平成 27 年 5 月 3 日活動レポート参照)。今年もここでの開催を計画していましたが、出店団体が少なかったことやきれいになったトイレを多くの方に知っていただきたいと考え、下り線の太平山パーキングエリア(以下、PA)で開催しました。普段は無人の太平山 PA を活用するのは、一昨年の 8 月に開催したのしろまち灯り・夏のプレイベント以来、2 度目です。

予報では雨も心配されていましたが、晴れ男・晴れ女の日頃の行いが効き、設営が終わる頃には冷たい風もやみ、絶好のイベント日和となりました。昨年の反省から開始時間を 1 時間早めた効果は大きく、9 時半過ぎからはトイレ休憩に立ち寄る観光バスや乗用車から次々と人が訪れました。

シーニックカフェ・夢工房咲く咲くでは、姉妹街道である会津若松市の甘納豆やぼうさい朝市の連携先、南三陸町の海苔、八森町のしょつつるあたりめ、常盤のピクルスなどを販売。山本地域振興局は県や管内の観光パンフレットの配布、NEXCO 東日本秋田管理事務所もオリジナル観光ガイドブックやドライブマップ、花の苗を配布しました。(株)ウッディさんからは動物や花台といった木製品をお預かりして販売しました。昨年に続き、鶴形地区そば製造加工組合のお二人も参加して下さいました。

4 月に発生した熊本地震の被災地支援を目的に、ぼうさい朝市ネットワークの一員としてくまモン応援カフェを開設、くまモン募金箱も設置しました。遠方からの来場者にはまだ秋田の春は寒かったようで、自動販売機には冷たい飲み物しかなかったこともあって、温かい飲み物しかないカフェは大人気。温かい鶴形そばも人気で、どちらも閉店前に完売してしまいました。

会場が多少こじんまりとしていても、トイレの内装、ハニカムプランターの植栽、木製機材と秋田道で秋田スギづくしのイベントができるのは太平山 PA ならではです。季節の情報発信のイベントのひとつとして、これからも NWらしい取り組みにつなげていければ良いですね。

文： 渡辺 千明



やはり木製機材は青空と緑に良く合います。運搬の容易さを追及した組み立て式の新屋台や WPC ベンチ、ハニカムプランターや背丈 70 センチほどのナマハゲなど新作品も登場しました。



車の 7 割は県外ナンバー。ナマハゲの知名度と人気はダントツです。会場にあるものに特化した商品も売った方が良いのでも感じました。ふなっしー並みの軽快な動きのスギッチも年代を問わず人気でした。



座れる動物は子どもだけでなくおとなにも人気です。初登場の大きな赤ナマハゲと記念撮影する人も。



赤ナマハゲが店番をするくまモンカフェの売り上げと募金は 11,747 円でした。その後、咲く咲くに 20 日まで置いていただいたくまモン募金箱 4,253 円と NW の活動費 4,000 円を合わせ、2 万円を熊本市で支援活動をする鹿児島市宇宿商店街への支援金としてお送りしました。